

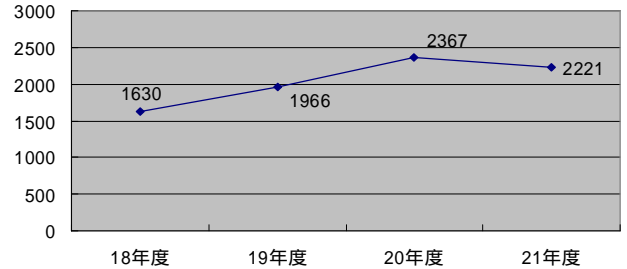
“子ねこの命”むやみに繁殖させないで！

青森県動物愛護センター

ねこは年間 **2000 頭を越える数**が持ち込まれます。
約 7 割は、子ねこです。
不妊手術が重要です。

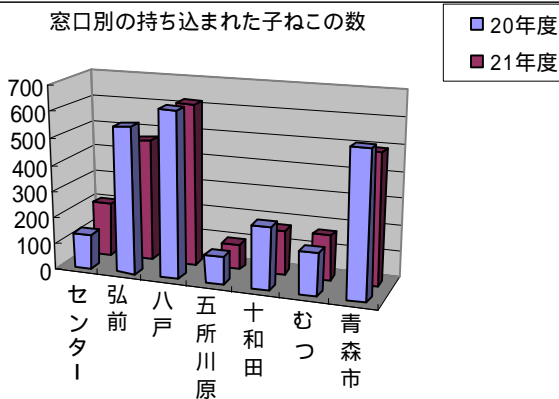
地域別に頭数を比較すると都市部に集中しています

動物愛護センターに持ち込まれるねこ頭数推移

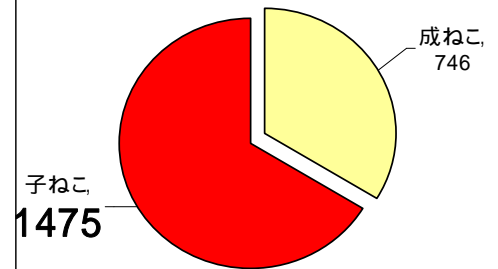


持ち込まれるねこの約 7 割が子ねこです

窓口別の持ち込まれた子ねこの数

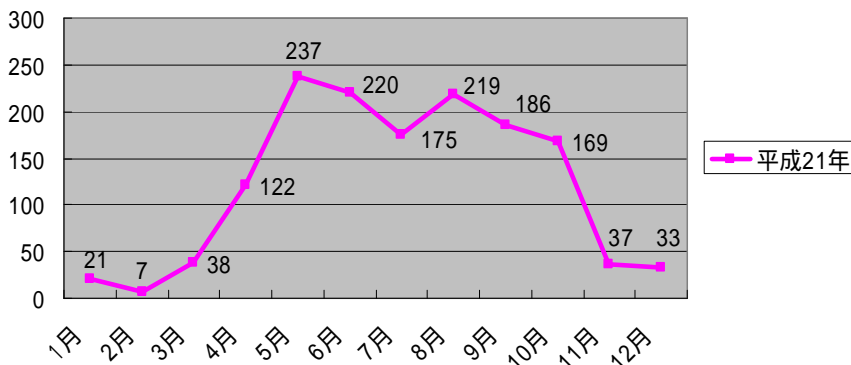


平成21年度に持ち込まれたねこの内訳



ねこの繁殖は季節的周期があります

動物愛護センターに持ち込まれる子ねこ頭数の推移



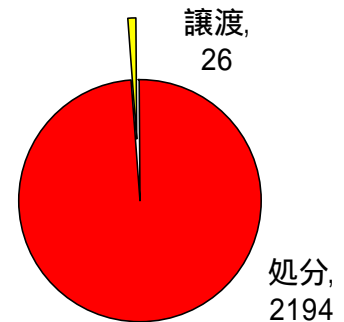
子ねこが生まれる原因

- ・不妊手術をしていない
- ・野良ねこ等への餌やり
- ・ねこの放し飼い

ねこの正しい飼い方ができる飼い主を募集しています。

- ・不妊手術を行う飼い主
- ・室内飼育を行う飼い主
- ・迷子札をつける飼い主

ねこの処分状況(平成21年度)



子ねこのほとんどがウイルス病、寄生虫病等の感染症に罹っています。

青森県動物愛護センターの対策

- 1 繰り返しねこの引取を求めてくる住民の調査、指導を行います。
- 2 ねこの多頭飼育をしている住民の調査指導を行います。
- 3 市及び支部獣医師会等と情報を共有し、地域を絞った有効な対策を検討します。
- 4 マスコミや広報誌等を通じ、積極的にねこの繁殖制限について啓発します。
- 5 引取・収容の多い地域をモデル地域とし、いわゆる「餌やりさん」の個別指導等を行います。